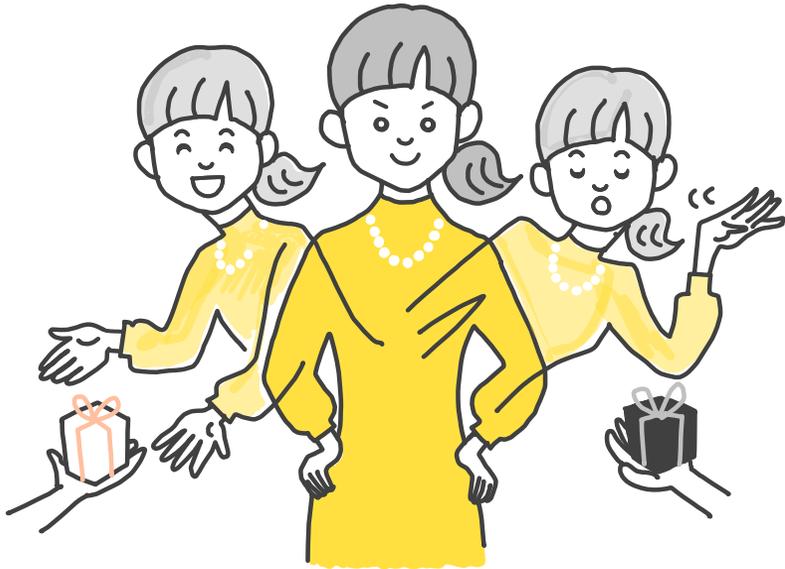


Lesson

主体的な意思決定が 妨げられる場面

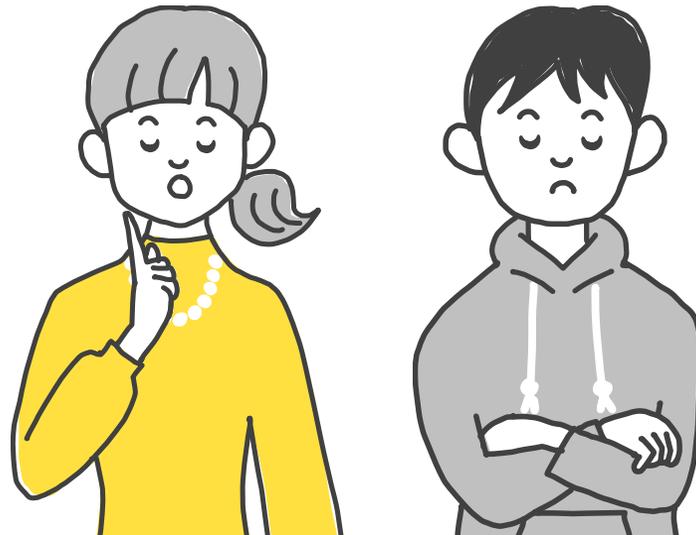


普段は大丈夫だと思っても 適切な判断と行動が**できない状況**があること



普段はしっかり考え
判断できる

どういう場合に起こるのか？



誤った判断を
してしまう



1



性格が
影響する場合

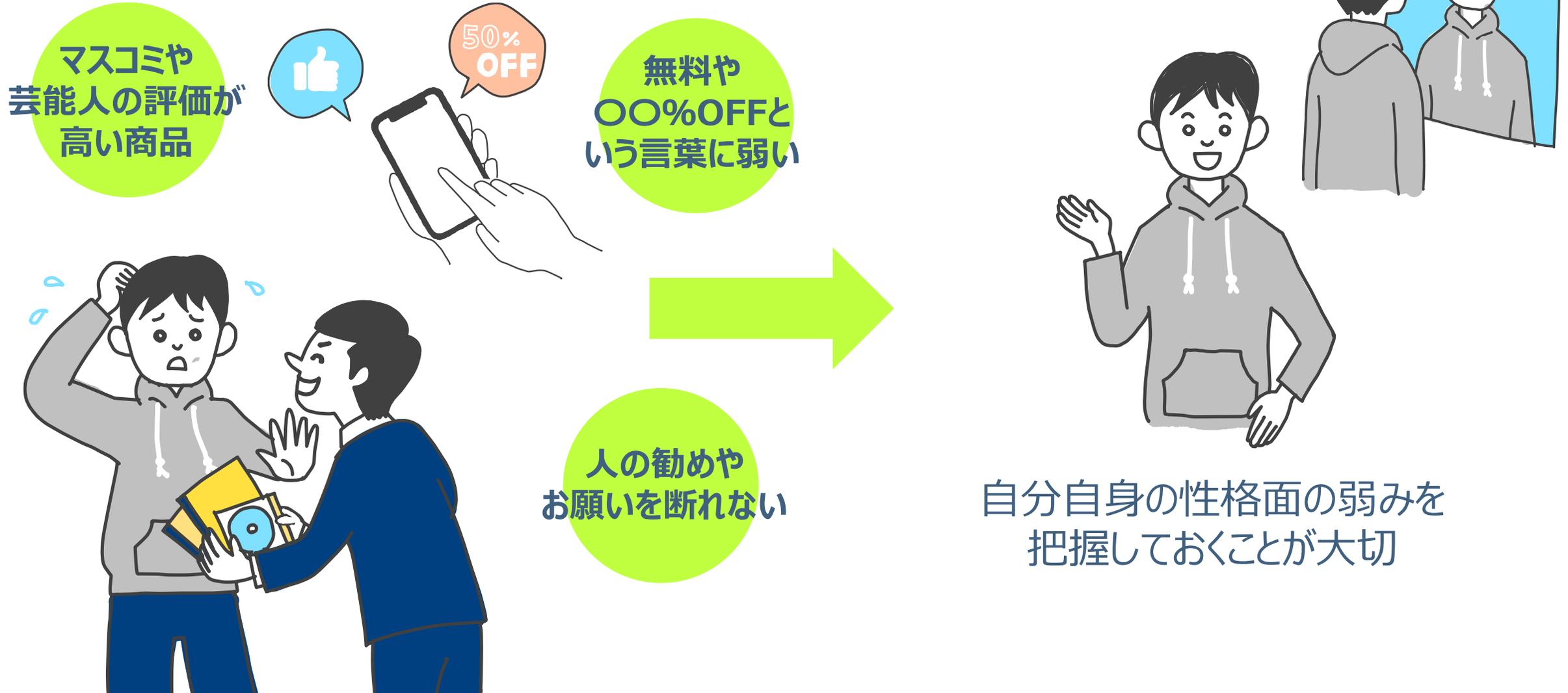
心理的な要因は 大きく分けて2つ

2



悩みや不安等が
影響する場合

性格が影響する場合



悩みや不安等が影響する場合

お金の不安



人間関係の
悩み

容姿や能力
の悩み



「怪しい勧誘ではないか？」と
冷静に検討してみましょう

主体的な意思決定が妨げられる事例



事例はこちら

日頃から気を付ける 6つの視点

悪質業者は勧誘のプロ
警戒心を持つことが大切！



視点
1

商品・サービスの価値

本当に必要なもの？
購入・契約する価値があるもの？



視点

2

勧誘者の信頼性

相手は信頼できるのか？
今だけ特別に親切なのではないか？



視点
3

場への拘束感

買わないと相手に失礼だと感じていないか？
早く帰りたい、時間が無いなど、仕方なく契約しようと思っていないか？



視点
4

否定的側面

勧誘内容に否定的に感じる部分はないか？



視点
5

勧誘の強引さ

相手を少し怖いと思っていないか？
強引で、断り切れないと思っていないか？

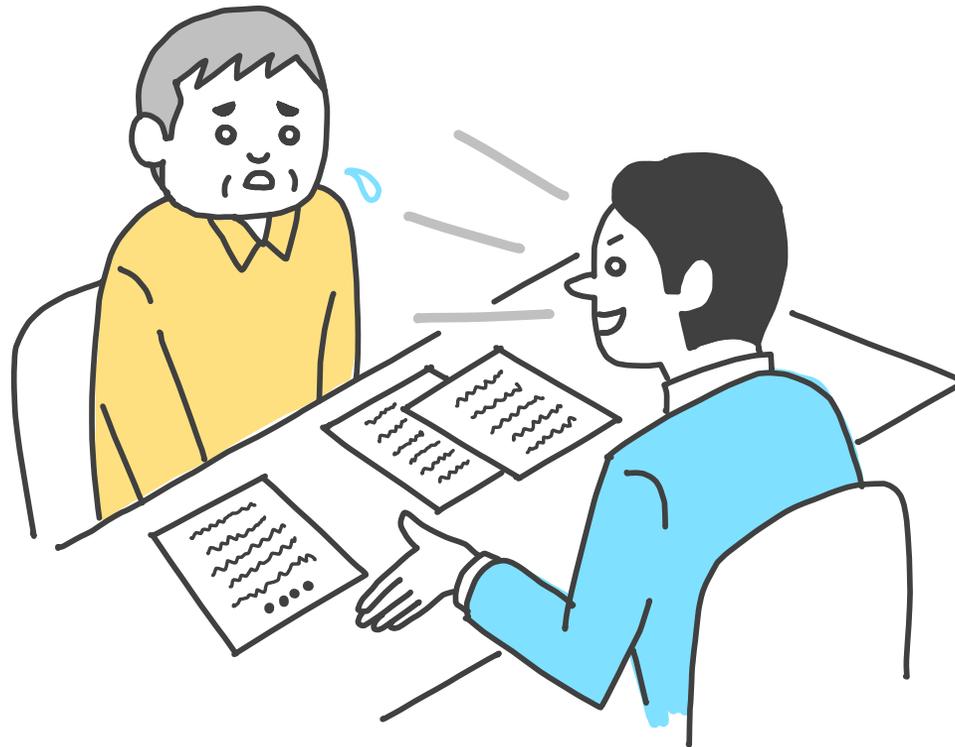


視点

6

説明への納得感

書面の内容を理解して、納得できたか？
相手の説明に怪しい点は無いか？



6つの視点を思い出して 少しでも気になることがあった場合には・・・？

その場ですぐに
購入・契約を決めない！



信頼できる相手に
相談してから！

問題のある広告・表示 どんな表示・広告か？

景品表示法違反って何？



景品表示法では



うそや大げさな表示など、消費者をだますような表示を**禁止**しています

不当表示には大きく分けて3つ！

1 商品・サービスの
品質・内容等



優良誤認表示

2 商品・サービスの
価格等



有利誤認表示

3 おとり広告に
関する表示等



その他 誤認される
おそれがある表示

景品表示法はこちら

振り返りメモ

気付いたことや、学んだことをメモしよう

A large rectangular area with a light gray grid pattern, intended for taking notes. The grid is composed of small squares and is enclosed by a thin green border.